9-3 算術関数と演算子

9-3-1 算術関数

xの絶対値



y/xの整数商



y/xの余り



xの平方根





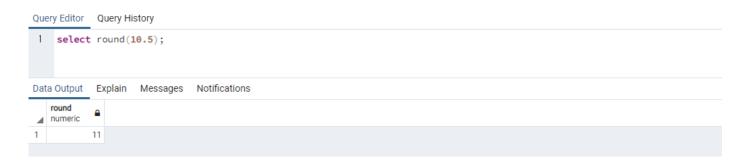
xより大きい最小の整数値



xより小さい最大の整数値



xの四捨五入



xの小数点切り捨て



xの常用対数



円周率



0 <= x < 1 の乱数値

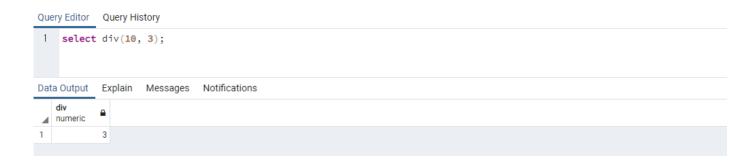


9-3-2 div () ∠mod ()

分割: division

モジュロ(余り): modulo

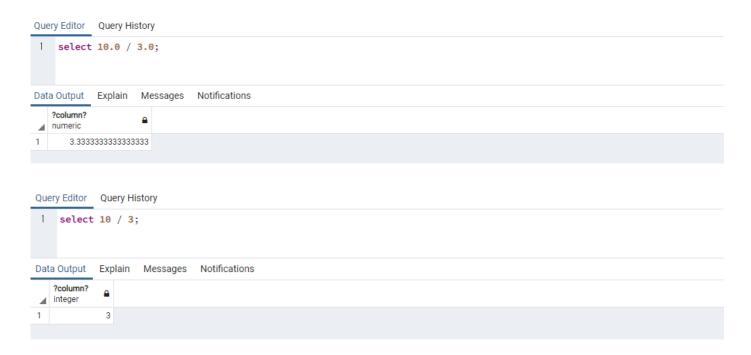
divは2つの数値のうち、精度の高い方のデータ型に揃えて結果を返す。



modは、2つのデータ型に関係なく、整数値(int型)を返す。

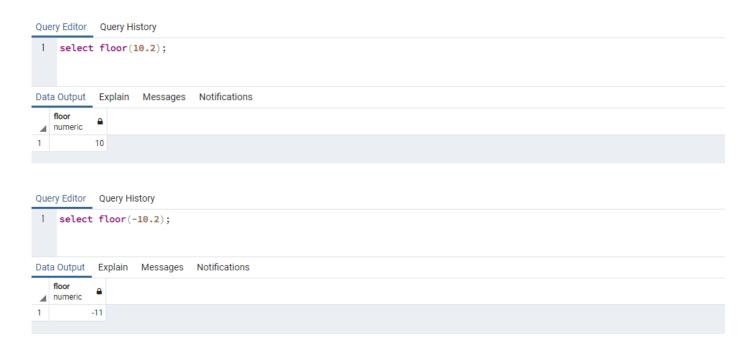


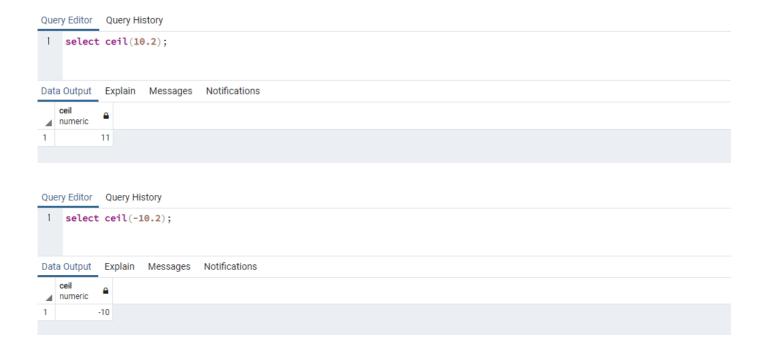
単なる割り算(/)は、入力値のデータ型によって戻り値のデータ型も変化する。



9-3-3 floor () ¿ceil ()

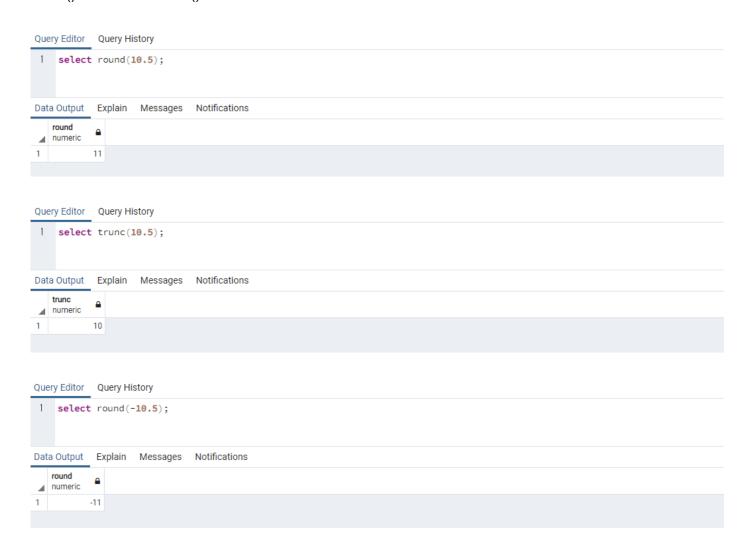
上記の2つは似たような働きをするため、比較をしておく。

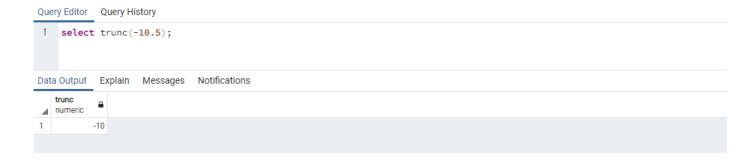




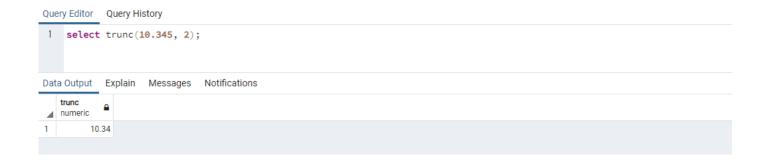
9-3-4 round () \(\angle\) trunc ()

round()は四捨五入、trunc()は小数点切り捨てを実行する。





残したい小数点以下の数を指定する。

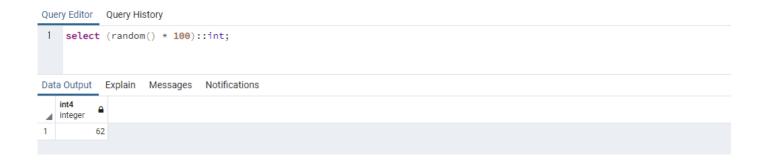


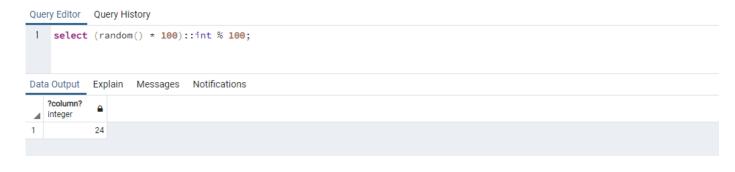
9-3-5 random ()

0以上1未満の乱数を取り出す。

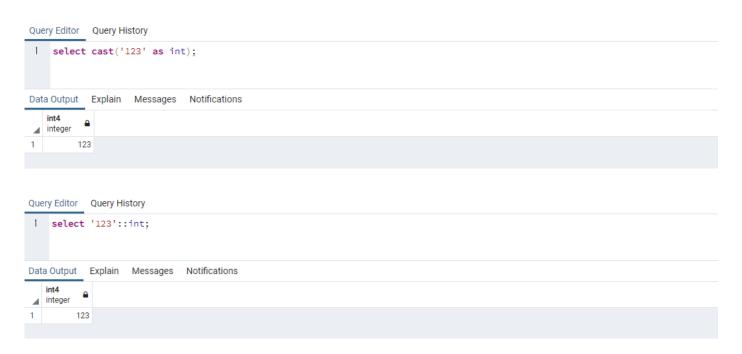


0から99までのランダムな整数を得る。その場合、キャストが必要となる。

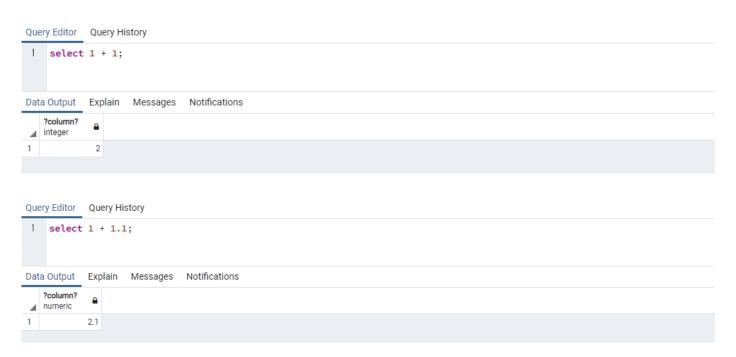




キャスト (データ型の変換) の復習もしておく。

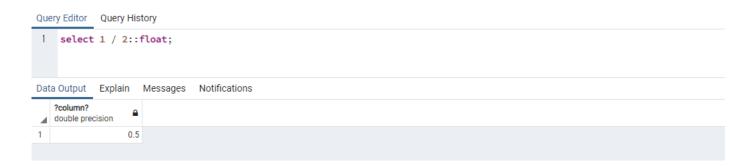


9-3-6 算術演算子

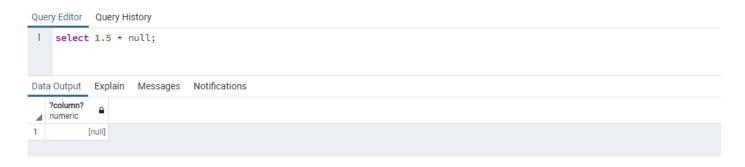




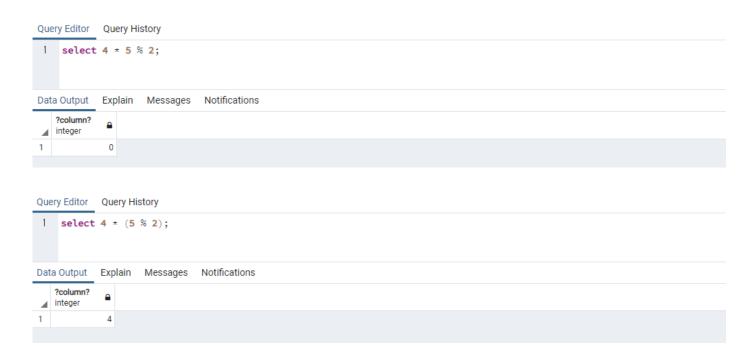
float型にすれば、問題ない。



nullを掛ければ、結果もnullとなる。



演算子の優先順位を確認しておく。



階乗(!) は足し算や引き算よりも優先度が低い。

